

第6回グッドライフアワードにおける環境大臣賞の取組（10件）

最優秀：ごみをごみで無くす「ゼロ・ウェイスト」

【概要】日本初のゼロ・ウェイスト宣言自治体である徳島県上勝町を拠点に、ごみを生み出さない社会形成を目指し様々な取組を行う。ゼロ・ウェイスト認証制度の運用やリユース促進でリサイクル率81%を達成。

（実施主体：特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー 場所：徳島県）



自治体部門：官民出資の自治体新電力で再生可能エネルギーを地産地消

【概要】米子市の地方創生総合戦略として、米子市と地元企業5社出資で設立された自治体新電力会社。地元の太陽光発電所、廃棄物発電所、小水力発電所、地熱発電所から電力を調達。公共施設や一般家庭・民間企業に電力を供給。

（実施主体：ローカルエナジー株式会社・米子市 場所：鳥取県）



優秀賞：お寺の「おそなえ」を「おさがり」として困窮家庭に「おすぞわけ」

【概要】全国のお寺の「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として支援団体の協力の下、貧困家庭へ「おすぞわけ」する活動。毎月9000人の子どもにお菓子や果物、食品や日用品を届けている。

（実施主体：特定非営利活動法人 おてらおやつクラブ 場所：奈良県）



企業部門：建設・運送会社が里山再生に挑戦する「100年の森づくり」

【概要】採石場跡地で100年後、豊かな森になるように配慮した砕石を行う。豊かな生態系の里山再生を見越した地形の修復や、樹木の配置、林道の配置、など森林の再生に取り組む。

（実施主体：田中産業株式会社 場所：新潟県）



優秀賞：ミツバチと農福連携が生み出す「お花畑プロジェクト」～耕作放棄地に蜜源と景観植物を～

【概要】耕作放棄地に景観を兼ねた蜜源植物を栽培することで、農地としての再生を目指す。蜜源植物造りは福祉事業所と連携して行う。ミツバチ研究を行う大学、農業関連会社、他県養蜂家との合同プロジェクトに発展している。

（実施主体：八米 場所：新潟県）



企業部門：食品ロスを削減する社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI.jp」

【概要】ITを活用した食品ロス問題を解決する「フードシェア」の仕組み。協賛会社の商品と消費者を結ぶショッピングサイト「KURADASHI.jp（蔵出し.jp）」を運営し、廃棄物を大幅に削減。

（実施主体：①グラウクス株式会社②住友商事株式会社 場所：全国）



優秀賞：有機栽培カモミール畑が広がる日本初バイオホテルの「オーガニック・ウェルネス・リトリート」

【概要】森里川海など自然循環の環境保護を実践する日本初のバイオホテル・八寿恵荘と、8000坪の広大なカモミールの有機栽培農園が広がるカミツレの里で、アレルギーの子ども専用の「自然体験教室」など各種体験機会を提供。

（実施主体：株式会社相互 八寿恵荘 場所：長野県）



企業部門：小さな集落の300年後を見据えたソーシャルグッドなお米事業

【概要】東京の子供服会社が、2011年の長野北部地震で被災した集落と合同会社を立ち上げ、地元米「小滝米」としてブランディング、販売を行う。適正価格での一括買取りによるドメスティック・フェアトレードを実現。

（実施主体：株式会社ギンザのサエグサ 場所：長野県）



NPO・任意団体部門：地球生態系のためのごみ減量システム「グリーンシステム」

【概要】牛乳を始め8種類のリユースびんを採用。調味料等中身が違って、びん容器の大きさを揃えることで回収・洗浄・選別作業の効率を向上。毎年約500万本のびんを回収・再使用。1994年から累計1億2千万本。

（実施主体：生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 場所：全国各地）



地域コミュニティ部門：誰でも参加できる自然エネルギー「相乗りくん」

【概要】晴天率が高く太陽エネルギーが豊富な長野県の空いている屋根を活かした、市民出資型の発電所。屋根と太陽エネルギーと売電収入をシェア。パネルオーナー（市民出資者）の出資額は1億円を超える。

（実施主体：NPO法人上田市民エネルギー 場所：長野県）

